

（臨床研究に関する公開情報）

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しており、「●対象となる患者さん」に該当する方へご協力をお願いしております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合は以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

〔研究課題名〕 薬剤師主導の Xpert MRSA/SA BC を用いた抗菌薬適正使用支援

〔研究責任者〕 薬剤部、ICT/AST 丸山 浩平

〔研究の背景〕

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌（MRSA）は、特に血流感染症において高い罹患率・死亡率を示す院内感染の主要起因菌である。メチシリン感受性株（MSSA）も重篤な感染症の原因となるが、使用可能な抗菌薬は MRSA より多い。黄色ブドウ球菌血症では、起因菌に応じた抗菌薬の早期投与が予後改善に寄与するが、バンコマイシン（VCM）は有効性が劣り腎障害などのリスクもある。従来の培養検査では結果に時間を要し、初期治療で広域抗菌薬が用いられがちであるが、これは耐性菌の増加や医療費増大を招く可能性がある。

核酸増幅検査の一つである Xpert MRSA/SA BC は、迅速に MRSA/MSSA を判別可能である。当院では 2024 年 1 月より本検査を導入し、薬剤師主導での抗菌薬適正使用支援を試みている。

〔研究の目的〕

Xpert MRSA/SA BC の導入が、適切な抗菌薬の開始までの時間およびバンコマイシンをはじめとする抗メチシリン耐性黄色ブドウ球菌薬の使用状況に与える影響について検討する。

〔研究の方法〕

●対象となる患者さん

2022 年 9 月から 2025 年 4 月までに、黄色ブドウ球菌血症が判明した入院成人患者

●研究期間： 2025 年 5 月 9 日から 2026 年 3 月 31 日

●利用するカルテ情報

カルテ情報：基礎情報（年齢、性別、基礎疾患、常用薬、 β -ラクタム系抗菌薬に対するアレルギーの有無、入退院日）、血液培養 {提出日、結果（菌種、感受性など）、感染症に関する情報（感染症名、使用抗菌薬とその投与期間）、ソースコントロールの実施有無、心臓超音波検査の実施有無、血液培養再検の有無、急性腎障害の発症有無}

検体の利用はありません

●情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[研究の参加について]

この研究への参加（カルテ等の情報を利用すること）にご協力いただけない場合は、研究責任者等又は「問い合わせ先」にご連絡いただくか研究参加拒否書に署名し、日付を記入して研究責任者等に渡してください。研究にご協力されなくても、診療等において不利益を受けることはありません。ただし、ご連絡いただいた時期によってはこの研究の結果が論文などで公表されているなどであなたのデータを取り除くことができない場合がありますことをご了承ください。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

薬剤部、ICT/AST 丸山 浩平

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314